

桐生の日本遺産

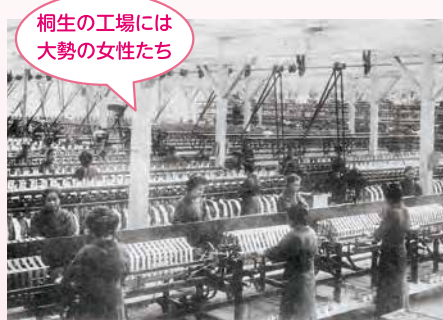
「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」の構成文化財を巡れば、
最先端の活躍をした女性たちの姿が見えてくるはず。
天下を牽引する活躍を見せたキャリアウーマンたちの
足跡をたどってみてはいかがでしょうか。



日本遺産とは、文化庁が認定する地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーです。2015年(平成27年)4月に、18件のストーリーが、日本遺産として認定されました。この日本遺産の一つとして、群馬県内4市町村(桐生市、甘楽町、中之条町、片品村)にある文化財から構成される「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」が認定されました。桐生市は養蚕・製糸・織物のうち織物の歴史と文化を伝える重要な役割を担っています。上毛かるたに「桐生は日本の機どころ」とうたわれるとおり、桐生は織物産業とともに発展してきた、まさに織物のまちなのです。



桐生市ホームページ
(かかあ天下ーぐんまの絹物語ー)



桐生の工場には
大勢の女性たち



大正9年頃の
桐生の働く女性



「かかあ天下」のストーリー

これが「かかあ天下」として上州名物になるとともに、現代では内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっています。「かかあ」たちの夢や情熱が詰まった養蚕の家々や織物の工場を訪ねることで、日本経済を、まさに天下を支えた日本の女性たちの姿が見えてくる……というものです。女性の活躍が目覚ましい現代ですが、「かかあ天下」として知られる上州ぐんまは、時代をリードするパイオニア的存在であったといえます。

古くから絹産業の盛んな上州(現在の群馬県)では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍しました。夫(男)たちは、「おれのかかあは天下ー」と呼び、

重伝建地区

桐生市桐生新町重要伝統的建造物保存地区

住 桐生市本町1丁目、2丁目、天神町の一部

☎ 0277-32-3914

交【車】北関東自動車道太田桐生ICより約25分 【電車】桐生駅より徒歩25分

400年以上前の町立て当初の地割りが残り、明治・大正時代の建物がレトロな雰囲気を出すエリア。近代化遺産などが立ち並び、織物で発展してきた桐生の姿を思い描きながら散策してみたい。

また、**着物を着つけてまちなかを散策**すれば、ノスタルジック気分を味わえます。外国の方も受け入れ可能で好評です(P33を参照)。

観光ガイド「織都桐生」案内人の会では、お客様のニーズに合わせて桐生のまちを解説しながらご案内しています。まちの成り立ちなども併せて知れば、桐生の面白さがわかること間違いなしです(P33を参照)。

地区周辺には、桐生のご当地グルメとして知られる幅広の「ひもかわ」を味わえるうどん屋、古民家レストランや、日替わり弁当・雑貨・本を販売しているお店をはじめ、おしゃれな帽子屋さん、ギャラリー兼カフェなど、古民家をリノベーションしたお店が次々とオープンし、古いものと新しいものが調和した魅力的なスポットが誕生しています。



桐生織物記念館

(桐生織物会館旧館)



住 桐生市永楽町6-6

☎ 0277-43-7272

交 桐生駅より徒歩10分

詳細はこちら
CHECK



桐生織物業界の作戦本部として、桐生織の大躍進を支えた「桐生織物同業組合」の旧事務所跡。まさにここで桐生織物の歴史が作られていったといえる施設です。現在は、1階では桐生の織物製品を、洋装と和装に分けて販売しています。桐生織の小物は、カワイイ&オシャレなものばかり。2階は、織機や織物が展示されており、手織機での体験や解説員による説明を無料で受けられます。

織物参考館「紫」



住 桐生市東4-2-24

☎ 0277-45-3111

交【車】北関東自動車道太田桐生ICより約25分

詳細はこちら
CHECK



「織物参考館「紫」」は、ノコギリ屋根の体験型資料館です。織物の歴史の学習、古織機など、解説員の説明を聞きながら見学することができます。また、手織り体験や染物体験が出来ます。自分で作った藍染のハンカチは、思い出に残る世界でたった一つのお土産になります。現役で稼働する織物工場「森秀織物」の、製品を生産する現場を見学することもできます。また土・日曜日には低速電動コミュニティバスMAYUが走っています。ぜひご利用ください。

絹然記念館

(旧模範工場桐生燃系合資会社事務所棟)



住 桐生市巴町2-1832-13

☎ 0277-44-2399

交【車】北関東自動車道太田桐生ICより約25分

全国にわずか6ヶ所しかない「模範工場」の事務所として使われていた建物です。1917年(大正6年)に建てられたもので、群馬県最古級の洋風石造建造物と考えられます。関東大震災以前の洋風石造建造物は、全国的にも貴重です。現在は、郷土資料の常設展示と年4回の企画展を開催しています。

詳細はこちら
CHECK



後藤織物



住 桐生市東1-11-35

☎ 0277-45-2406

交【車】北関東自動車道太田桐生ICより約25分

明治初期に洋式染色技術を導入し、織物の改良を行いました。ノコギリ屋根工場では熟練の女性従業員が活躍し、帯地など織物生産を行い、桐生の織物業の発展に大きく貢献しました。見学には事前の予約が必要です。

詳細はこちら
CHECK



白瀧神社



住 桐生市川内町5-3288

☎ 0277-44-0754

交【車】北関東自動車道太田桐生ICより約40分

恋愛成就間違いなし!古くからの歴史を持つパワースポット「白瀧神社」。はるか昔、京都から織物技術を伝えた「白瀧姫」をまつ神社で、絹産業に関わる多くの人々に信仰されてきました。桐生市から朝廷へ上った若者が、和歌を通じ、身分の違いを乗り越えて白瀧姫を妻とした伝説から、縁結び神社として知られています。境内には、耳をあてると機音が聞こえたという大岩「降臨石」があります。

パワースポット